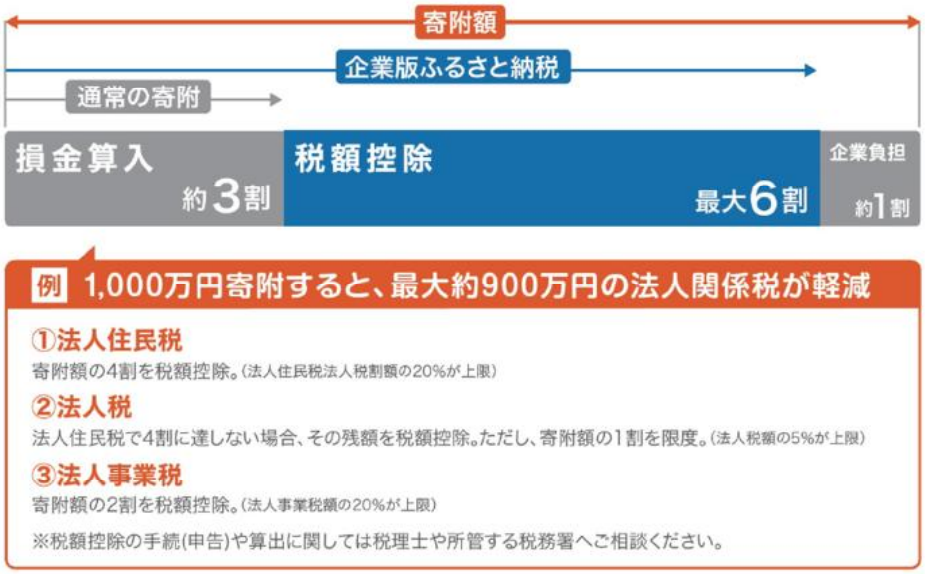
令和７年度企業版ふるさと納税活用事業の事業評価について

令和８年 10 月　和泉市

１．制度の概要

概要	企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられた地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税を税額控除する仕組み。
税制措置の内容	通常の寄附における損金算入による軽減効果（寄附額の約３割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大６割）により、最大で寄附額の約９割が軽減され、実質的な企業の負担が寄附額の約１割まで圧縮される。 
対象事業	地方版総合戦略に位置付けられた事業で、事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））の設定および PDCA サイクルの推進により、地方創生の観点から効果の高い新規・拡充事業
注意事項	・本社が市内に所在する法人からの寄附については対象外 ※「本社」とは、地方税法における「主たる事務所または事業所」を指す。 ・１回あたり 10 万円以上の寄附が対象 ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を供与することは禁止

2．寄附の状況

令和７年度実績：72,369,816 円

【内訳】

寄附金の使途	件数	寄附実績（単位：円）		
		寄附総額	うち寄附充当額	うち基金積立額
（ア）「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり事業	5	1,400,000	1,400,000	0
（イ）健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進事業	6	700,000	700,000	0
（ウ）外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備事業	2	600,000	600,000	0
（エ）活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出事業	4	400,000	400,000	0
（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業	5	46,000,000	0	46,000,000
（カ）住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり事業	2	200,000	200,000	0
（キ）災害に備える仕組みづくり事業	0	0	0	0
（ク）みんなで取り組む連携・協働のまちづくり事業	3	11,700,000	0	11,700,000
（ケ）都市経営の促進事業	3	11,369,816	11,369,816	0
計	30	72,369,816	10,474,216	57,700,000

＜参考＞過去の実績

年度	件数	寄附総額
令和６年度	６件	48,563,499 円

3．寄附を活用し、実施した事業

①北松尾認定こども園の整備（給食用備品の購入）

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ア）「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">3,568,840 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">1,400,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">集団教育の確保と待機児童の解消を目的に、北松尾幼稚園と北松尾保育園を統合し、北松尾認定こども園を令和８年４月に開園するにあたり、必要となる給食用備品（食器や厨房機器等）を購入。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>55.9</td><td>60.0</td><td>59.7</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">令和８年度から北松尾保育園、北松尾幼稚園を統合し、認定こども園として開園するにあたり、児童数増に合わせた食器・器具類等の購入のほか、運搬用カート、消毒保管庫、ガス高速オーブン等を購入し、園児に安全・安心な給食を安定提供した。</td></tr>
</table>

②（仮称）北部総合スポーツ公園の整備（基本構想の策定）

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（イ）健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">19,580,000 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">500,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">多様化するスポーツのニーズに応えるため、誰もが身近にスポーツを楽しめる環境を整備することを目指して、（仮称）北部総合スポーツ公園基本構想を策定。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>63.7</td><td>67.7</td><td>65.6</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">基本構想の策定により、基本コンセプトやゾーニングの設定、事業スケジュールの整理などを行うことができ、（仮称）北部総合スポーツ公園の整備を推進することができた。今後、令和 16 年度の施設オープンを目指し、基本計画・事業手法等の検討を進めていく。
・基本コンセプト：「“人と人”、“人と自然”がつながる、スポーツとふれあいの拠点」
・ゾーニング：スポーツゾーン、広場ゾーン、自然ゾーンなど</td></tr>
</table>

③がん関連支援プロジェクト

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（イ）健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">1,069,805 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">200,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">がん治療と就労、社会参加の両立を支援するとともに、購入に伴う経済的負担の軽減を図ることを目的に、がん治療に伴い医療用ウィッグを必要とする市民に対する購入費用の一部補助を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>63.7</td><td>67.7</td><td>65.6</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">がん治療による脱毛は、患者の方にとって大きな精神的苦痛であり、自信の喪失や外出への抵抗感を生じさせることがあるなか、医療用ウィッグ購入費用の補助は「普段通りの生活」を送る一助となり、社会参加・社会復帰の促進、療養生活の質の向上に繋がったほか、経済的負担軽減にも寄与することができた。
（参考）令和 7 年度の支給実績 60 名</td></tr>
</table>

④北信太駅前整備事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ウ）外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">15,349,400 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">600,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">JR 北信太駅において、駅東西の連携の強化（駅を拠点とした安全な歩行空間の整備やバリアフリー空間の形成）を目的とした東西自由通路の整備に伴う既存地下通路閉塞設計を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>37.5</td><td>40.8</td><td>41.7</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">新たに整備した自由通路の供用開始に伴い既存の地下通路を閉鎖・廃止する必要があることから、財産所有者である JR 西日本と協議を行いながら閉塞手法などについて詳細設計を実施し、北信太駅前整備事業を推進した。</td></tr>
</table>

⑤オンデマンドバス事業（物納）

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ウ）外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">4,195,600 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">4,195,600 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">車両 1 台（物納）を受け入れ、これまで狭隘道路などの課題でコミュニティバスを運行できなかった地域の移動手段として、デマンド型交通の実証実験として活用。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>37.5</td><td>40.8</td><td>41.7</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">令和８年２月よりデマンド型交通「チョイソコいずみ」阪和西エリアの実証実験を開始した。受け入れた車両は、運行車両として活用し、交通空白地域等における移動手段の確保が期待できるものである。</td></tr>
</table>

⑥就労支援促進事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（エ）活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">495,000 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">400,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">就労支援システムを導入・利用し、就労支援に関する利用者情報・支援記録・進捗管理を一元化し、業務効率化と情報共有の円滑化を図り、支援者へ継続的かつ適切な支援を実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数（令和3年度~令和7年度）（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>185</td><td>520</td><td>726</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">就労支援システムの導入により、従来紙媒体と Excel で行っていた和泉市無料職業紹介及び障がい者就労支援センターにおける就労支援業務における記録管理が効率化され、相談記録や支援情報を簡易に検索・確認することが可能になった。これにより、蓄積されたデータを活用し、きめ細やかな就労支援の提供が可能となった。</td></tr>
</table>

⑦障がい者就労支援強化事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（カ）住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">1,993,200 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">200,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">障がい者就労支援センターの機能強化のため、市内求人開拓や、一般企業での就労をめざす障がい者を市が有期雇用し、地域社会で活躍できる人材を育成する「チャレンジオフィス」の開設に向けたアドバイザー業務の委託に活用。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>32.4</td><td>35.0</td><td>35.5</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">令和８年４月１日のチャレンジオフィスの設立準備において、業務切り出しやメンバー選考のポイント洗い出し等、設立準備全般に関するアドバイザリーの提供を受けたことで、専門的な知見に基づいた円滑な準備が推進された。</td></tr>
</table>

⑧財産管理事業（人材派遣型）

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ケ）都市経営の促進事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">7,074,216 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">7,074,216 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">鉄道会社と締結している包括連携協定の目的である市内の地域及び鉄道の持続的発展を図るため、企業版ふるさと納税（人材派遣型）の制度を利用した同鉄道会社からの出向職員を任期付職員として任用した。
出向職員については、市所有地などの財産管理に関する業務に従事し、市有財産の売却等を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>未利用地の売却率（令和３年度～令和７年度）（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>▲ 45.8</td><td>100.0</td><td>39.9</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">民間ノウハウを活用した普通財産の活用及び貸付、処分を行うことにより、未利用地の財産を適切に使用、運用し、円滑な行政運営を推進することができた。
（参考）令和７年度の普通財産の処分実績　　２,２９５.４６㎡
令和７年度の普通財産の貸付実績　　１,１３０.５８㎡
※事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）は、未利用地の解消割合（令和２年度比）で算出。計画開始時点の数値がマイナス値なのは、令和４ 年度の未利用地の増加によるもの。</td></tr>
</table>

⑨市政情報の発信力強化

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ケ）都市経営の促進事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">2,450,800 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">100,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">和泉市公式 LINE について、情報配信方法の見直しや視覚的にわかりやすいメニュー表示に変更するなどにより、市の魅力や市政情報の発信力を強化し、災害時や緊急時を含め、市民への情報伝達手段の機能を強化した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>いずみメール・和泉市ＬＩＮＥ登録者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>計画開始時点
（令和4年度）</th><th>目標値
（令和7年度）</th><th>実績値
（令和7年度）</th></tr>
<tr><td>KPI</td><td>90,608</td><td>93,389</td><td>93,063</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>項目</th><th>令和７年度末</th><th>令和６年度末</th></tr>
<tr><td>友達登録</td><td>１０３，５７７</td><td>１０１，７７３</td></tr>
<tr><td>ターゲットリーチ</td><td>７９，９２９</td><td>８１，０５３</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>２０，２７３</td><td>１７，９２７</td></tr>
<tr><td>属性不明</td><td>３，３７５</td><td>２，７９３</td></tr>
</table>
※メッセージ配信はターゲットリーチ（友達登録-ブロック数-属性不明）

各種イベントでの周知活動やプレゼントキャンペーンが奏功し、新規の友達登録数は増加したことで、事業認知度向上と初期の利用者獲得において一定の成果を上げている。
一方で、継続的なブロック数の増加が課題となっており、結果として実質的なメッセージ配信対象者数（ターゲットリーチ数）は減少傾向となっているため、「視覚的にわかりやすいメニュー表示」について、その効果（友達登録数の維持・増加、ブロック率の改善など）を詳細に検証する。
</td></tr>
</table>

※事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）の目標値は、第２期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R3 年３月策定）と同一の数値を設定。
ただし、地域再生計画策定時（R6 年８月）において、既に目標値を上回っていた事業については、実績値を上回る目標値を設定。

（3）外部有識者の評価・意見

評価	⊙本事業は、地方創生のために有効であった。 ・本事業は、地方創生のために有効でなかった。
意見	〇全体を通した意見 ◆寄附活用事業について ・子育て、健康などの市民のニーズに寄り添う事業から、都市基盤整備、観光振興まで幅広い事業に活用していて、和泉市の地方創生に大きく貢献していると評価する。 ・多額の費用を要する事業に限らず少額の事業にも充当し、きめ細かく幅広い事業に活用しており、多くの市民に寄り添う施策展開ができていると評価する。 ・寄附活用事業は和泉市の魅力を高める事業が多いことから、移住・定住促進への効果が期待される。 ◆物納・人材派遣型の活用について ・物納や人材派遣といった多様な寄附の受入も進んでおり、柔軟に制度を活用できていると評価する。 ・特に人材派遣型は、民間企業の人材の参画により、従来の行政手法では得られなかった視点を取り入れ事業を推進することができるとともに、他の職員の能力向上の刺激となることが期待される。 〇事業に対する意見 ◆（仮称）北部総合スポーツ公園の整備（基本構想の策定） ・令和 16 年度の施設オープンに向けて、今後、具体的な基本計画や事業手法の検討を進める際には、市民参画の機会を積極的に設け、ニーズを反映させることで、より実効性の高い施設となるよう努められたい。 ◆がん関連支援プロジェクト ・がん患者の精神的・経済的負担を軽減し、社会参加・復帰の促進に繋がるものであり、市民の健康と QOL 向上に資する非常に意義深い取り組みである。 ◆オンデマンドバス事業（物納） ・交通空白地域における移動手段の確保という喫緊の課題解決に寄与している。利用者のニーズや利用頻度を分析し、運行エリアや運行時間の最適化を図ることで、さらなる利便性向上と利用促進に繋がると考える。 ◆障がい者就労支援強化事業 ・「チャレンジオフィス」開設に向けた専門家のアドバイザリー活用は、障がい者の自立と社会参加を促進する上で非常に有効なアプローチである。専門的知見に基づく準備推進は事業の成功確率の向上にも繋がると考える。

4．基金に積立てし、翌年度以降に実施予定の事業

（1）実施予定事業

①久保惣記念美術館のリニューアル整備事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">30,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">久保惣記念美術館を本市が誇る文化財として更に魅力を高め発展・存続させることを目的に、施設のリニューアル整備を実施予定。令和７年度は基金への積立てを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>市内主要 15 施設への来訪者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>1,268,663</td><td>1,595,000</td><td>1,436,700</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="2">久保惣記念美術館の来館者数（人）
<table>
<tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>来館者数</td><td>19,646</td><td>14,695</td><td>20,744</td><td>25,436</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

②久保惣記念美術館の魅力向上事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">10,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">久保惣記念美術館の魅力向上に向けた取組み（集客の目玉となるような新たな美術品の購入など）に活用予定。令和７年度は基金への積立てを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>市内主要 15 施設への来訪者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>1,268,663</td><td>1,595,000</td><td>1,436,700</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="2">久保惣記念美術館の来館者数（人）
<table>
<tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>来館者数</td><td>19,646</td><td>14,695</td><td>20,744</td><td>25,436</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

③槇尾山レクリエーションセンターリニューアル事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">5,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">和泉市立青少年の家について、ハード・ソフト両面での利用活性化策に取り組むことで、全く新たな観光施設に生まれ変わらせ、本市南部地域の交流人口増加の起爆剤となる新たな拠点施設としての再整備を実施するため、令和７年度は基金への積立てを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>市内主要 15 施設への来訪者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>計画開始時点
（令和4年度）</th><th>目標値
（令和7年度）</th><th>実績値
（令和7年度）</th></tr>
<tr><td>KPI</td><td>1,268,663</td><td>1,595,000</td><td>1,436,700</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="2">和泉市立青少年の家の来訪者数（人）
<table>
<tr><th></th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr>
<tr><td>来訪者数</td><td>19,442</td><td>23,294</td><td>22,889</td><td>18,078</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

④和泉ビリケン誕生祭

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">1,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">大阪・関西万博で実施した市内産木材「いずもく」のチェーンソーアートで誕生した和泉ビリケンさんの１歳の誕生祭を「道の駅いずみ山愛の里」で実施するため、令和７年度は基金への積立てを行った。
（令和８年５月 17 日に実施した。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>市内主要 15 施設への来訪者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>計画開始時点
（令和4年度）</th><th>目標値
（令和7年度）</th><th>実績値
（令和7年度）</th></tr>
<tr><td>KPI</td><td>1,268,663</td><td>1,595,000</td><td>1,436,700</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

⑤市制施行 70 周年を祝うだんじり曳行事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ク）みんなで取り組む連携・協働のまちづくり事業</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">11,700,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">市制施行 70 周年を祝うため、これを記念し、和泉市制 70 周年を祝うだんじり曳行実行委員会（市も実行委員会に参画）が伝統文化の保存と発展並びに商工観光に寄与することを目的にだんじり曳行事業を実施するため、当該実行委員会に対する負担金に活用することから、令和７年度は基金への積立てを行った。
（令和８年５月 31 日に実施した。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>39.9</td><td>50.0</td><td>39.6</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

※事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）の目標値は、第２期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R3 年３月策定）と同一の数値を設定。
ただし、地域再生計画策定時（R6 年８月）において、既に目標値を上回っていた事業については、実績値を上回る目標値を設定。

（２）今後の方針

（１）の実施予定事業は、全て令和８年度以降に実施予定のものである。事業実施に向けて、企業版ふるさと納税の活用について引き続き周知を図るとともに、本市の地方創生に関連する事業への活用に向けて取組の推進を図る。

（3）外部有識者の評価・意見

評価	⊙地方創生の取組に効果が期待できる。 ・地方創生の取組に効果が期待できない。
意見	〇全体を通した意見 ◆周知・PR について ・基金に積立てた事業に関しては、観光振興が突出しており、企業の関心が高いことが伺える。企業の関心が集まりやすい事業を分析し、魅力のある事業をもって効果的な働きかけを行うことが寄附獲得にあたり重要である。 ・「市政施行 70 周年を祝うだんじり曳行事業」は、主に事業担当課が積極的に寄附獲得に努めたということで、事業担当課から直接企業へ働きかけたことにより熱意が伝わり寄附に繋がった良い事例だと考える。 ◆基金の活用について ・観光振興や伝統文化の継承（だんじり曳行事業）は、市の魅力向上と地域活性化に寄与するものであり、基金に積立て後年度に活用することで、和泉市の持続的な発展に資する重要な投資となり大きな期待が寄せられる。

5．基金を活用し、実施した事業

令和６年度に受けた寄附を基金に積立て、令和７年度に取り崩して実施。

（１）基金への積立の状況

寄附金の使途	基金積立状況（単位：円）		
	令和６年度末の基金積立額	令和７年度に活用した金額	基金残額
（ア）「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり事業	1,000,000	500,000	500,000
（イ）健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進事業	0	0	0
（ウ）外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備事業	0	0	0
（エ）活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出事業	0	0	0
（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業	35,000,000	30,000,000	5,000,000
（カ）住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり事業	0	0	0
（キ）災害に備える仕組みづくり事業	0	0	0
（ク）みんなで取り組む連携・協働のまちづくり事業	0	0	0
（ケ）都市経営の促進事業	10,000,000	10,000,000	0
計	46,000,000	40,500,000	5,500,000

（2）令和７年度に基金から取り崩して実施した事業

①保育環境の向上

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ア）「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">509,832 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">500,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">公立保育所において、睡眠中の園児の安全確保のため、午睡チェックセンサーを導入。令和６年度に基金への積立てを行い、令和７年度に基金から取り崩して活用した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合（%）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>55.9</td><td>60.0</td><td>59.7</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">市内の保育園９園の０歳クラスに午睡チェックセンサーを導入した。
午睡チェックセンサーの導入により、保育士の目視とセンサーとのダブルチェックで、より安全な見守りが可能となった。また、午睡チェック表の自動作成によって、個人別に手入力していた記録業務の負担軽減を図ることができ、他の保育業務に力を注ぐことができた。</td></tr>
</table>

②久保惣記念美術館の環境整備

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（オ）新旧の魅力が融合する観光の振興事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">44,498,300 円</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">30,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">久保惣記念美術館の駐車場について、安全性確保及び利用環境の向上を図るため、舗装等整備工事を実施。令和６年度に基金への積立てを行い、令和７年度に基金から取り崩して活用した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>市内主要 15 施設への来訪者数（人）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>1,268,663</td><td>1,595,000</td><td>1,436,700</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">砕石駐車場を舗装整備したことにより、歩行時の不便さ、雨天時の足元の悪さ、砕石の管理などの課題を解決できたことで、最も来訪手段として多い自家用車での来館者の安全性の確保、利便性を向上することができた。
また、大型バスの収容が可能となり、団体ツアー客等の受入体制も整った。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="2">久保惣記念美術館の来館者数（人）
<table>
<tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr>
<tr><td>来館者数</td><td>19,646</td><td>14,695</td><td>20,744</td><td>25,436</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

③道路維持事業

<table>
<tr><td>寄附金の使途</td><td colspan="2">（ケ）都市経営の促進事業</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td colspan="2">15,720,125 円</td></tr>
<tr><td>基金積立額</td><td colspan="2">10,000,000 円（令和６年度）</td></tr>
<tr><td>寄附充当額</td><td colspan="2">10,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業目的・内容</td><td colspan="2">緊急交通路に指定されている路線等について、通行車両の安全確保等を図ることを目的に、道路の舗装修繕等を実施。令和６年度に基金への積立てを行い、令和７年度に基金から取り崩して活用した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）</td><td>指標名</td><td>道路の延べ舗装修繕補修区間数（令和３年度～令和７年度）（件）</td></tr>
<tr><td>数値</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>計画開始時点
（令和4年度）</td><td>目標値
（令和7年度）</td><td>実績値
（令和7年度）</td></tr>
<tr><td>KPI</td><td>7</td><td>11</td><td>18</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>事業効果</td><td colspan="2">緊急交通路を含む各路線（民間企業への資材運送や市民が官庁及び商業施設へのアクセスのために利用されている路線）について、道路の維持管理のために舗装更新や道路構造物等の補修を行い、安全な交通空間の確保に努めた。今後も安全な通行を確保するように道路環境を整備していく。</td></tr>
</table>

※事業に紐づく地域再生計画の数値目標（KPI）の目標値は、第２期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R3年３月策定）と同一の数値を設定。
ただし、地域再生計画策定時（R6 年８月）において、既に目標値を上回っていた事業については、実績値を上回る目標値を設定。

（3）外部有識者の評価・意見

評価	⊙本事業は、地方創生のために有効であった。 ・本事業は、地方創生のために有効でなかった。
意見	〇各取組に対する意見 ◆保育環境の向上 ・午睡チェックセンサーの導入により、園児の安全確保と保育士の業務効率化という二重の効果が達成されており、保育現場の切実なニーズに応えられ、保育の充実に寄与したと考える。 ◆久保惣記念美術館の環境整備 ・駐車場の舗装整備は、来館者の安全性と利便性向上に直結し、美術館の魅力向上に繋がるインフラ整備である。 ・大型バスが収容可能になったことで、団体ツアー客やインバウンド客の誘致が期待されるとともに、バリアフリーの観点からも評価できる。 ◆道路維持事業 ・市民生活の安全確保と産業活動の基盤を支える上で不可欠な事業であり、道路環境が良くなることは市民の快適な暮らしに寄与するものだと考える。